


## 圧力変換器

本取扱説明書は  
技術者向けとなっております。

## 取扱説明書

この度は、ミネベア製圧力変換器をご採用いただきまして、誠に有り難う御座いました。  
安全に正しくご使用頂くために、必ずご使用前に取扱説明書・注意書をよくお読み下さい。  
本文中の注意事項は必ずお守りください。  
この取扱説明書・注意書は、必要なときすぐ取り出して読めるように大切に保管して下さい。

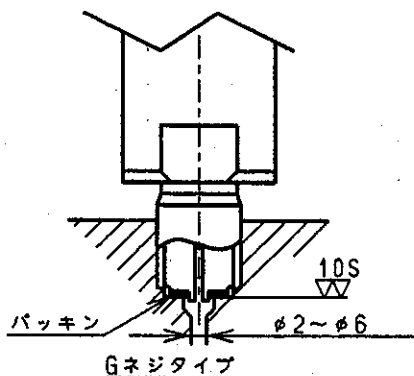
 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・許容過負荷を越える負荷を与えないで下さい。</li> <li>・取り付けの際、ネジ等がゆるまないよう、しっかり止めて下さい。</li> <li>・最大印加電圧よりも高い電圧をかけないように使用下さい。</li> <li>・特殊圧力媒体は使用しないで下さい。</li> </ul>
---	---

## 製品概要

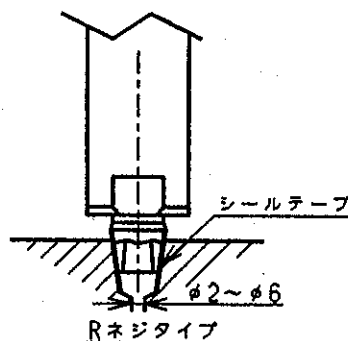
圧力変換器は、気体または流体の圧力の変化をそれに比例した出力電圧の変化に変える変換器です。  
ミネベア製の圧力変換器の受感素子は精密加工した高張力鋼にひずみゲージを貼り付け、  
電氣的に結線した4ゲージ法の平衡したホイートストンブリッジを形成しています。回路的には  
付加抵抗を組み合わせて、広い温度範囲にわたってブリッジの精度を保つようになっています。

## 接続・据え付け

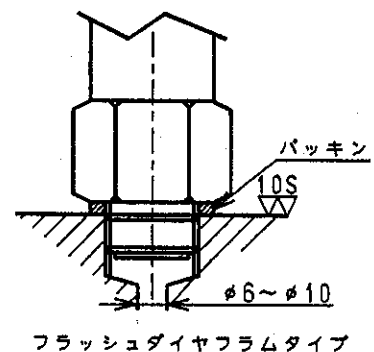
- 1) 圧力変換器の据え付けには、付属のパッキンを使用し、所定の締め付けトルクで確実に据え付け下さい。導入口の形状により、下図を参考として下さい。



推奨トルク 20 to 40 Nm



推奨トルク 20 to 40 Nm



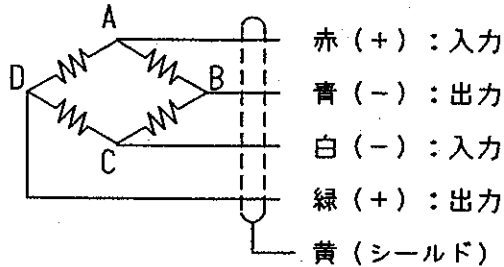
推奨トルク 10 to 20 Nm

- 2) ドレンコックのある圧力変換器には同じく付属のドレンコックおよびパッキンを使用して下さい。  
圧力媒体が液体の場合、測定開始時に少し圧力をかけドレンをゆるめると、はじめに空気が出て次に液体が出ますから、これを確認してドレンを締めて下さい。なお、ドレンコックを利用して内部を洗浄する事もできます。  
パッキンにつきましては、一度使用したものは変形によりシールが不完全になることがありますから、できるだけ未使用のものをご使用下さい。

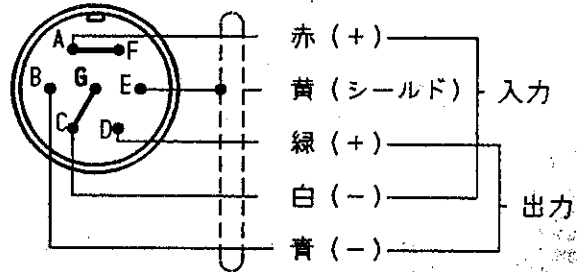
ミネベア株式会社  
計測機器事業部

配線

変換器 配線図



コネクタ 配線図



注) シールド線は本体ケースとは接続されていません。

使用上の注意

- 1) シールド線は可能な限り設置して下さい。(但し、取付状態により接地しない方が良い場合がありますのでご注意ください。)
- 2) ケーブルの配線は動力電源ラインとはできる限り離して下さい。
- 3) 本器を磁気や電磁波を発生する機器の近くには設置しないで下さい。
- 4) 本器には弊社ケーブルを使用下さい。他のケーブルをご使用になられますと精度不良、ノイズ等のトラブルが生じる事があります。
- 5) 分解、修理、改造等を行わないで下さい。故障の原因になります。
- 6) 特殊使用環境下及び特殊圧力媒体の場合は使用前に一度ご相談下さい。
- 7) 据え付け時は本体の圧力導入口部についている二面幅部を所定の推奨トルクにて締め付けて下さい。ケーブルや本体カバー部を持つての締め付けは故障の原因になります。

保守

- 1) 内部または外部からの温度変化がある場合、圧力変換器に極度の温度勾配があると、零点の移動が大きくなりますので、温度勾配は 5° C/hour程度になるように注意して下さい。
- 2) 圧力変換器に付いているコネクタは電氣的接触に重要な部分です。絶縁不良、接触不良を起こしやすい箇所ですから、保管の場合はキャップを被せ充分な保護をして下さい。
- 3) 振動・衝撃等の少ない場所に保管して下さい。

異常時、故障時の対応

- 1) 使用中に本器による異常な出力、音、臭い等を確認した場合は、直ちに使用を中止して下さい。
- 2) 異常を確認した場合は、販売代理店もしくは弊社各営業所まで異常内容、使用状況、型式、使用期間等をできるだけ詳しくご連絡下さい。

廃棄方法について

本器を廃棄する際は廃棄物処理法に則り、環境に配慮して下さい。

ミネベア株式会社

計測機事業部

軽井沢製造部 〒389-0293 長野県北佐久郡御代田町大字御代田4106-73

☎0267-31-1309

藤沢製造部 〒251-8531 神奈川県藤沢市片瀬1-1-1

☎0466-22-7151